



**「地域おこし協力隊」を
知っていますか？**

**「地域課題解決型」
地域おこし協力隊**

地域おこし協力隊は、「都会を離れて生活したい」「地域社会に貢献したい」といった都市部の人材を募り、一定期間、地域おこし活動や農林業住民生活の支援等を行いながら、その地域への定住・定着を図ることを目的とした制度で、平成21年に総務省が創設しました。平成30年度には全国で5000人以上の人が地域おこし協力隊として活躍しています。

本町では平成25年度よりこの制度を導入しました。現在、大きく分けると、町役場が取り組んでいる地域課題を解決することを目的とした「地域課題解決型」の地域おこし協力隊と町の地域資源を活用して事業を起こすことを目的とした「起業型」の地域おこし協力隊があります。

個性豊かな隊員が町外からの視点や新たな発想、これまでの経験を活かした活動や情報発信を通じて、さらなる地域の活性化を目指します。

今月号では、「地域課題解決型」と「起業型」の違いや、本町で地域おこし協力隊として活動する皆さんを紹介いたします。

「地域課題解決型」地域おこし協力隊とは、募集の段階で町から地域における課題を示し、着任後にその課題に対して取り組む協力隊です。過去に9名の隊員が、アートや空き家を活用した地域の活性化、観光PR、移住定住の促進、農林産物の加工品開発、集落での活動やイベントの支援などのさまざまな取り組みを進めてきました。任期末を終えた後に、これまでの活動を活かして町に定住した隊員や定期的に町でのイベントに参加する人もいます。

現在は、7名の隊員が、楽しく体を動かす運動の提案、移住定住のサポート、SNSや動画を活用した町の魅力発信、「出ヶ原和紙」や「会津張り子」の伝統工芸品の継承、集落機能を維持していくためのサポート、生徒に寄り添いながら西会津高校を盛り上げるなど、隊員同士が連携しながら各分野で活動しています。

「起業型」地域おこし協力隊

「起業型」地域おこし協力隊とは、地域資源の有効活用や地域課題解決を通して、地域に根差した魅力ある仕事づくりに取り組む協力隊です。

町では昨年度から募集を始め、起業支援担当3名、起業家3名が活動しています。

隊員は、建築や編集など、それぞれの専門性を活かしながら、故くからある歴史や文化、技術といった資源を未来に向けて繋げていけるよう、地域の皆さんと一緒に地域に根差した魅力ある仕事づくりに向けて活動しています。



～ 地域課題解決型地域おこし協力隊の紹介～

**それぞれ自分自身の為に楽しく体を動かして、
毎日いきいきと生活できる運動を提案したい。**

私は普段、町公民館の生涯学習課スポーツ担当に所属しながら、町内の老人クラブやサロン等の出前講座のほか、西会津スポーツクラブの運営と運動指導や学校・福祉施設での運動活動をしています。運動が苦手・体を動かすのが大変という人でも楽しく参加できるように試行錯誤しながら運動内容を考案しています。

以前と働き方も暮らしも違う中でまだまだ戸惑いがあったりもしますが、声をかけてくださる町民の皆さんに、支えられ励まされながら楽しく日々を送っています。今期最後の年になりましたが、悔いが残らないよう頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



なりた なおみ
成田 尚美
担当分野：スポーツ 3年目

プロフィール

私は普段、町公民館の生涯学習課スポーツ担当に所属しながら、町内の老人クラブやサロン等の出前講座のほか、西会津スポーツクラブの運営と運動指導や学校・福祉施設での運動活動をしています。運動が苦手・体を動かすのが大変という人でも楽しく参加できるように試行錯誤しながら運動内容を考案しています。

【好きなこと】
窓から差込む朝日と読書、昼はラーメン食べて雑貨屋でチョコレートを買う、時折人生の先輩方と触れ合うのが楽しみ。



西会津の先人の仕事、会津藩御用紙でもあった出ヶ原和紙を地域の人たちと活かし残したい。

私の活動は、出ヶ原和紙の保存伝承が基本になります（山で楮を刈り、蒸し皮を剥ぎ、その外皮を削り、雪晒し、煮、叩き、紙漉き、压榨、紙干し）。外から見ると魅力的でありながら、衰退する伝統文化。これを継続し残すため、新商品の開発や、国内外での発信、和紙を学ぶ場としての展開も行っていきます。



西会津の先人の遺産。よそから来た私だけではなく、地域の皆さんと共に活かし残したいと考えています。よろしくお願ひします。

【好きなこと】
現代美術、絵画が専門。各地の歴史や自然と人の営みをテーマに作品を制作。
自分の仕事や制作に関わる古書や資料はつい集めてしまふ。



たきざわ てつや
滝澤 徹也

担当分野：出ヶ原和紙 3年目

地域の人々が地域外の人たちとの交流を楽しみ、一緒に地域を支え合える関係を築きたい。

私は奥川地区で暮らしながら、奥川地区にある集落支援拠点施設の維持管理や、奥川支所を拠点に集落支援員と共に高齢化率の高い集落の見守りをする活動をしています。また、大学の力を活用しながら、人足イベントをはじめとした集落でのイベントのお手伝いもしています。年々高齢化が進み、人も少なくなっていく現状の中で集落機能の維持に向けて集落支援員と連携し共に活動しています。



【好きなこと】
写真を撮ること、バスケットボール、温泉、散歩、四季折々の景色を見ること。



わたなべ たかひろ
渡辺 貴洋

担当分野：集落支援 2年目

大好きな西会津の未来をつくる素敵な西会津ファンがこの町にたどり着く一助になりたい。

西会津国際芸術村にある、西会津のある暮らし相談室にて、移住者に向けた情報発信や移住相談などを行い、移住促進に取り組んでいます。

私がアーティストとして西会津へ関わりはじめたのが6年前。先輩協力隊たちの活躍もあり、この6年の間で町はどんどん移住者や新しい方を受け入れる雰囲気になってきているように感じます。この町にしかない魅力に惹かれ私が移住した経験を基に、「ぜひここに住みたい!」と思う移住者がこの地にたどり着くお手伝いをするのが私の役割です。この町と一緒に楽しくする西会津ファンが増えることを目指して活動しています。



【プロフィール】
愛知県出身。百貨店販売員として東京で働く間に、西会津国際芸術村にアーティストとして夏を中心に3年間程、たびたび訪れるうち土地の雰囲気や芸術村の空間に魅了され、移住。

【好きなこと】
ものを作ることに、誰かの手によって作られたものを体感すること、民俗学や日本文化や季節の美味しいものも好き。



やまぐち かおり
山口 佳織

担当分野：移住・定住 3年目

ローカルモダンに突き抜ける西会津町!皆さんの想像が膨らむような情報発信がしたい。

私は町役場企画情報課に所属し、情報発信担当として町SNSの運用を担っています。西会津町に来て2年が経ちました。これまでたくさんの施設や店舗、町内行事を取材させていただき、町のホームページや広報誌、ケーブルテレビと連携しながら情報発信を行ってきました。

3年目のこれからは西会津町により深く入り込みローカルに突き抜ける情報発信をしたいと思っています。町にはまだまだ知られざる歴史文化や可能性が眠っています。それらをどのように表現し価値化できるのか。その想像力を活かすための余白に地域の魅力を感じています。



【プロフィール】
高知県出身。大学では近代以後の美術を専攻、卒業後は東京の美術館に3年間勤務。東日本大震災をきっかけに東北地方の芸術文化に興味を持ち、いわき市の芸術文化活動を支援するNPOで活動。その後、平成30年から町地域おこし協力隊に。

【好きなこと】
趣味は美術作品制作・鑑賞。最近演劇や映画を制作中。好きな食べ物は魚肉ソーセージ。



いむら こうへい
居村 浩平

担当分野：情報発信 3年目

～ 起業型地域おこし協力隊の紹介～

世の中の価値観が大きく変わる今、西会津町が持つ可能性が大きくなっている。



よこやま ゆたか
横山 裕

【西会津町を選んだ理由は？】

地域を大切にすることが重要。西会津町は地域価値を高めることができる素地を持っていると確信したからです。

【どんな活動をするの？】

西会津町の風土を活かした滞在満足度を高める仕掛けと、町の未来に切り開く地域経済の循環のしくみづくりをしていきます。

【プロフィール】 福島市出身。主に新潟県で地域、まちづくりの計画と実践、特に観光まちづくりを進めてきた。スペイン・バスク地域が好きで、西会津町にも同じ風土を感じ、地域おこしにあたる。

西会津の皆さんとの関係性を深め、町や人の魅力に触れたい！ぜひお話ししましょう！



にしみち さえ
西道 紗恵

【西会津町を選んだ理由は？】

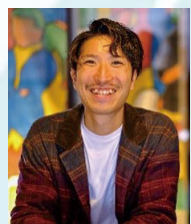
美しい自然、地元の方々のあたたかな人柄に惹かれ、西会津町で暮らし、活動したいと思いました。

【どんな活動をするの？】

西会津町で起きている活動を町内外へ広め、加速させていくために、広報に取り組みます。

【プロフィール】 兵庫県出身。山間地域で育ち、中学校教師を目指し関西大学文学部で学ぶが、卒業後は広告業界でライターに。好きな食べ物は、お寿司とりんご。

西会津の面白さをどんどん発掘して楽しい暮らしを自ら体現していきたい。



さとう ゆうた
佐藤 雄太

【西会津町を選んだ理由は？】

美しい風景・建物・生活にとっても心惹かれました。山育ちで幼少期の原風景と重なるところがたくさんあります。

【どんな活動をするの？】

家具をリメイクして販売したり、古材を活かした空間設計を建築に取り入れたりする活動を行います。

【プロフィール】 山形県出身。日本大学工学部卒。大学3年時に東日本大震災を経験し、福島で少しでも復興の力になりたいと思い郡山の設計事務所に就職。体を動かすことや人と関わる仕事が好きで、自然や古いものにも興味がある。

地域の内側を知り、地域の外側から学び、地域の皆さんと一緒にこの町の明るい未来を描きたい。



はせがわ こうじ
長谷川 幸志

【西会津町を選んだ理由は？】

西会津町を訪れた時に感じた、この土地の言葉には表しづらい故郷で新しい魅力に惹かれました。

【どんな活動をするの？】

西会津町でチャレンジしたいと思う、起業家や地域住民の皆さんの想いの実現を支援していきます。

【プロフィール】 埼玉県出身。中央大学文学部仏文専攻卒業。以前は、中学校・高校のキャリア教育や社会教育支援に携わり、“ひと”の成長を支援することが好き。

建築冒険家、建築翻訳家として西会津だからできる街の魅力を見える化したい！



こんどう たくま
近藤 拓馬

【西会津町を選んだ理由は？】

初めて来た時に、「ここに住みたい」と、感じたからです。

【どんな活動をするの？】

古民家の活用コンサルティングを行い、西会津町の街並みの継承と、10年、20年先に西会津町で暮らせる環境づくりをします。

【プロフィール】 静岡県出身。日本大学工学部卒業後、横浜で建築設計、地域拠点運営企画を担当。福島で7年間過ごし、震災の体験から福島を第二の故郷とする。

関東平野育ちの私にとって日々新鮮な文化と触れ合いながら学びを増やしていきたい。



よしはら ゆか
吉原 友香

【西会津町を選んだ理由は？】

私は漆素材を扱っていますが、素材が近くにあり、その伝統文化が存在しない土地であったためです。

【どんな活動をするの？】

人と漆の歴史は縄文時代から存在します。特別なものではない本来の人と自然の関係を構築していきたいです。

【プロフィール】 茨城県出身。芸術を学んでいた大学時代、意図せず漆に出会った。馴染みのない文化で新鮮で興味深く、より密に関わりたいと思い現在に至る。

会津張り子の懐かしくも新しい姿を広めたい。

1年前より、野沢民芸制作企業組合にて活動しています。赤べこや起き上がり小法師などの会津張り子の製作やPRを主にを行っています。

去年は赤べこや干支のねずみなどの絵付け、張り子型の原型の試作、販促物の制作などを行ってきました。また、県内や首都圏を中心に物産展やイベントなどで張り子商品の販売や絵付けのワークショップにも参加してきました。



【好きなこと】 昨年より西会津の景色や日常風景を水彩画で描いている。新たな景色を探している。

【プロフィール】 泉崎村出身。絵を描いたり、ものを作ったりすることが好きで、伝統工芸に興味があり、地元福島の文化振興に貢献したいと思ひ、協力隊に。



なかはた わかな
中畑 和香奈

担当分野：会津張り子 2年目

西高「そうだんCafé」から西会津町を盛り上げてます！



生徒の気持ちに寄り添い、先の方と連携を取りながら、西会津高校を盛り上げています。生徒たちや先生方、西高を訪れる地域の人たちが気軽に立ち寄りお茶飲みしたりできるような「そうだんCafé」の空間づくりに取り組んでいます。

【好きなこと】 演歌を歌う・ひとりでのんびりする・みんなでワイワイする・おっさん哲学



たにぐち ひろこ
谷口 紘子

担当分野：西会津高校活性化 2年目